

(件 名) 鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に関する陳情書 (2項)

(参 考) 1 項は文教観光委員会に付託 (陳情第 4 0 7 2 号)

(陳情の趣旨)

私は最近東京から鹿児島に帰省しました。長い事県外にいと、他県にはない鹿児島の良さが鹿児島に住んでいた時よりも強く感じられるようになります。そんな中で知人が鹿児島サバイブの運動をやっていて、新体育館の建設事業の問題点を知り、同感いたしました。

壮大な活火山を望める場所、ドルフィンポート跡地はもっと違う土地活用をするべきです。

鹿児島から出た事のない人達は見慣れ過ぎて、鹿児島の桜島のブランド力に気づいていないのか、こんな場所は他県にも海外にもありません。鹿児島だけです。体育館は他の場所で考えましょう。

自主財源を生み出すために、街づくりをもっと良く考えましょう。

人口減少はどんどんと加速していきます。北海道の北見市みたいに無計画に事業をやっていると財政危機に鹿児島もなりますよ。後悔する前に持続可能な街づくりを目指して下さい。

「長く話し合われてきた事だから」との理由になんの意味があるのですか。まだビジョンが定まっていない事業なのに、9億円という設計費用を先に容認するという動きも理解できません。

出来レースと思われてもしかたないのでは。

鹿児島の未来のためにもっと真剣に責任感を持って考えて下さい。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

1. ドルフィンポート跡地は、もっと自主財源を生み出す場所にして下さい。
2. これからの鹿児島を見据えて合理的な議論が交わされる県議会を望みます。